

被災者支援活動ニュース

“早く元の生活にもどれるように役立ててください” これまでに、県内外から120万円超す募金寄せられる

「鳥取地震の募金を少額ですがしたいと思います」。25日、兵庫県尼崎市に住む男性からメールが届き、募金一万円がよせられました。被災から二ヶ月がたちましたが、これまでに県内外から120万円を超す募金が集まりました。あらためて、感謝申し上げますとともに、現時点(12月27日)の会計報告をさせていただきます。

おもな支出は、被災した1市3町(倉吉市、湯梨浜町、北栄町、三朝町)への寄付金と、二回にわたり発行した鳥取民報号外の印刷費と折り込み費用です。被災者の生活再建は長期にわたるものと思います。お預かりした募金は、被災者の一日も早い生活再建のために役立てたいと思います。ひきつづきご支援、ご協力くださいますようお願いいたします。

鳥取中部地震会計報告 (2016年12月27日時点)

収入			支出		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
募金	1,217,917	支援募金は、県内外におよび、地震や水害にあった熊本県、広島県、兵庫県からも寄せられました。	自治体への寄付	800,000	1市3町へ
			印刷代	73,440	鳥取民報
			折り込み費用	247,198	地元紙に2回
			救援用資材等	42,881	ヘルメット、救急用品など
合計	1,217,917		合計	1,163,519	
			残高	54,398	

救援・救済基金から被災者に見舞金届く

「中央委員会から見舞金をいただきました」「全国の党員のみなさんの拠出金と知り、これからは、私も毎月納入したい」。いま、鳥取中部地震で被災した党員(全県で29名)に日本共産党の「救援・救済制度」の見舞金が届くなかで、感謝と、制度へのあらたな協力が広がっています。

三朝町のMさん(全盲)は、「昨日(24日)、塚田地区委員長と市谷県議が見舞金を届けてくれました。地震にあうし、安倍はやりたい放題だし、正直、落ち込んでいました。しかし、見舞金をいただき、話聴いて、またがんばろうと思いました」と話し、今後、毎月、救援・救済募金に協力することになりました。

